

平成 28 年度 毛長川流域連絡会（第六期・後半） 活動報告書

毛長川流域連絡会の概要

- 第六建設事務所では、毛長川を地域に活きた親しめる川とするため、流域の皆様や足立区、東京都が情報や意見の交換を行うことを目的として、平成 15 年に毛長川流域連絡会（以下「連絡会」という。）を設置いたしました。
- 流域連絡会は原則として年に 2 回開催しており、平成 28 年度は第 22 回、第 23 回流域連絡会を開催しました。
- 平成 28 年度は第六期の委員（都民委員 2 名、団体委員 11 名、行政委員 6 名）により構成されました。

平成 28 年度の活動内容

第 22 回流域連絡会

- 日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）10:00～12:00
- 会場：竹ノ塚地域学習センター



- 参加委員：

団体委員	伊興東町町会 代表（副座長）	行政委員	第六建設事務所 副所長（座長）
	入谷町会 代表		足立区都市建設部建設事業調整担当課長
	都住舎人自治会 代表		建設局河川部低地対策専門課長
	古千谷本町町会 代表		第六建設事務所管理課長（代理）
	東伊興町会 代表		
	竹の塚スカイタウン町会 代表		
	花畑団地自治会 代表		
	鷺宿町会 代表		

➤ 議題・議事概要

- ・平成29年1月13日の午前10時から11時半に、竹ノ塚地域学習センターレクリエーションホールにおいて、第22回毛長川流域連絡会が開催されました。都民委員8名、行政委員4名が参加し、東京都からの報告事項をもとに、毛長川について意見交換が行われました。

1. 開会

2. 座長挨拶

- ・第六建設事務所副所長兼工事課長が挨拶

3. 委員の紹介

- ・自己紹介形式で都民委員、行政委員の自己紹介

4. 議題（東京都からの報告）

中川・綾瀬川圏域河川整備計画の変更について（河川部計画課）

〈概要〉

- ・平成28年6月に、東日本大震災を踏まえ堤防や水門等の耐震・耐水対策を実施するために、中川・綾瀬川圏域河川整備計画の変更を行った。
- ・整備計画の主な変更点は、地震、津波等に対する安全性の向上で、東日本大震災を受けて策定した「東部低地帯の河川施設整備計画」（平成24年12月）に基づき、将来にわたって考えられる最大級の強さをもつ地震に対して堤防や、水門及び排水機場などの機能を保持し、津波等による浸水を防ぐために、堤防の耐震性、水門などの耐震性・耐水性を確保していくこととした。
- ・毛長川については、地盤が満潮位より高いため、今まで通り河床掘削等の洪水対策や、護岸の修景などの環境整備を進めていく方針。

〈質疑・意見〉

（質問）海面より低い所があるとのことですが、足立区のこちらはどうですか。

（都）足立区では、綾瀬川沿いと荒川沿いなど、広い範囲で地盤高が低くなっています。

毛長川の整備状況について

〈概要〉

- ・毛長川では、平成3年、平成5年に溢水した記録がある。近年では時間50mmを超える雨の頻度も高まっており、洪水の危険性が増大している。
- ・暫定計画は、48時間で総雨量217mm、1時間に50mmの二種類の降雨を想定し、将来計画は、48時間で総雨量が355mmを想定している。
- ・東京都、埼玉県にまたがって流れているため、東京都と埼玉県で協定を結び、全延長7kmを4つの区間に分けて整備を進めている。
- ・平成2年から護岸整備に着手し、下流側では護岸の際に鋼管矢板を打ち込む工事が終わっている。河床掘削工事も下流から進めており、今年度分が終わると、残りはおよそ800m。
- ・舎人橋から上流区間約150mが護岸の未整備区間であり、来年度から着手していく。この区間は、足立区側に舎人緑道公園があり、対岸側は川口市の遊歩道があるが、工事に伴い桜の木が支障となるため、一部伐採となる。移植できるものは移植し、伐採したものは工事完了後苗木を植えるなど考えている。
- ・下流区間で鋼管が打ち終わっている区間について、今年度花畑団地付近で、鋼管のコンクリート被覆や、法面の修景の検討を始めていく。

〈質疑・意見〉

(質問) 今年度河床掘削する箇所の下流は終わっているのか。

(東京都) 下流から進めているので終わっています。

(質問) 29年度の河床掘削は埼玉県でやるのか。埼玉県施工範囲になっているが。

(東京都) 東京都施工区間については東京都で河床掘削工事を行います。護岸整備については埼玉県の施工になるので、都の工事が終われば、埼玉県が引き続き施工に入っていきます。

(質問) 鷺宮橋のあたりは河床掘削が終わっているのか。浅くて干潮の時に川底が見える。

(東京都) 河床の掘削は終わっているが、上流から土が流れてきて堆積してしまう。

(質問) 年に200mくらいだと、上流までいくのに10年かかりますよね。

(東京都) 予定では残り800mほど。来年以降3年から4年で終わらせたいと考えています。

(質問) 鷺宮橋の下流でやっている工事は何か。

(東京都) 河床掘削工事の一環で、河床を掘った泥を脱水し、水と土を分離するプラントです。川の中に管を通して、掘削箇所から鷺宮橋下流まで5kmほど送ります。昨年までは埼玉県の辰井川排水機場でやっておりましたが、今年度耐震補強工事のため利用できませんでした。

(意見) 5kmもヘドロを持ってくるなんて効率が悪いですね。

(東京都) プラントの施設が600m²ほど必要なため、川沿いにスペースの確保が難しかった。来年度以降は埼玉県辰井川排水機場の工事が終わると聞いているので、そこに脱水施設を持っていき、効率よく掘れるようにしたい。

(質問) 桜の木が切り倒されて無くなってしまふのはさみしい。新しく植えても20年、30年かかる。荒川でも芝川でも放水路で地域を守っているが、毛長川も地域を守るために、芝川とか荒川の方に放水路で流すことは考えられないか。

(東京都) 上流の川口市の流域で、一部芝川、新芝川に毛長川の水を流している放水路がある。その上でどうしても必要な断面ということになります。

(意見) 水害は大変なことだが、計画を練るなりして、地域住民の桜の名所が無くならない方法で考えられたらいい。また、芝川へ流している放水路を立派にするとか、考えてみたらいいと思う。

(東京都) 東京都区間については伐採を考えているが、上流の埼玉県の施工区間については桜の木にはなるべく影響のないように、川の線形の検討をお願いしたいと考えている。

毛長川の河床掘削工事について

- ・今年度の河床掘削は、やすらぎ橋人道橋の前後200mで行う予定。工事期間としては昨年の11月中旬から今年(平成29年)の3月末までを予定している。今の河川断面を約2m掘り下げて、洪水対策をしていく。
- ・工事の内容は、土砂を掘削し、パイプラインを通してプラントまでもっていき、その土砂を水と、大きな石、砂、粘土などを分離して、トラックで運ぶ。
- ・プラントについては、去年(平成27年)は辰井川排水機場で処理をしていたが、今年(平成28年)は耐震補強工事を行っており使えないため、鷺宮橋の下流にプラントを設置し、約5kmパイプラインで圧送する。

- ・現在プラントの排水管の設置を行っており、完了したら2月頃から圧送、処理をしていく。

新花畑橋（仮）架設工事について

- ・毛長川に橋を架ける工事を、平成29年7月ごろまで実施していく。その後、橋の両側に取りつく道路工事、護岸の一部改修を平成30年夏ごろまで実施予定。橋が架かり、取り付け道路の工事もほぼ完了した状態で、さくら橋を利用する歩行者や自転車の方のみについて、新しい橋に通行の切り替えを予定している。さくら橋の通行を新しい橋に切り替えた後に、さくら橋の撤去工事と護岸の復旧工事を、周辺の整備工事とともに実施する。目標としては平成31年度内の車を含めた全面開通を目指して事業を鋭意進めている。
- ・新花畑橋（仮称）桁制作・架設工事について、工期は昨年の2月から今年の7月まで、工事内容は桁の制作、桁の架設。受託者は川田工業で、契約金額は約2億1千万。
- ・現在下部工事が完成しており、鋼橋の制作も概ね終わっている。橋の桁をかけるのは2月の中旬を予定している。8分割したものを、大きなクレーンで一本ずつ架けていくという工事を行う。橋を架けた後もボルトを締めていく作業などいろいろな作業があるが、安全には十分配慮して進めていく。

〈質疑・意見〉

- （質問）2億1千万というのは東京都と埼玉と両方で負担するのか。
（東京都）東京都の負担である。半分程度国のお金も入っている。

毛長川の魚類等調査委託報告

- ・平成27年度に、足立区内の荒川、綾瀬川、毛長川、圀川の4つの河川について、河川の水質状況や水生生物の生息状況等の経年変化を調査した。4つの河川で魚類が33種類確認された。このうち10種類の魚は、特に重要種の指定をされている。
- ・毛長川については、今回の調査でも4箇所の中で一番多い23種類が確認されている。
- ・今回の調査で確認された特定外来生物（海外起源の外来種で、生態系、人の生命、身体、農林水産業へ被害を及ぼすおそれがあるもの）として、5種類の魚類が確認された。
- ・全体として、今回の調査では特定外来生物が増えた面もあるが、毛長川の魚類は23種類と安定して観測されており、環境状況は良好。
- ・市街化に伴い、昔からあった大きな池や湿地帯が失われ、川どうしの連続性が失われつつある面もあり、今後は川どうしのネットワークの形成にも目を向けて、生物の多様性を高めていくことが、環境に対する一つの重要な取り組みになる。
- ・毛長川の水質について、毛長川のBOD（生物化学的酸素要求量）は右肩下がりでも下降しており、水質は良くなりつつある。詳細を見るとBODの数値が前回調査より上がっている箇所もあるが、環境庁が指定している環境基準は確保されており、水質は安定している。
- ・DO（水中の酸素量）は右肩上がりでも水質も安定している。詳細を見ると前回調査よりも下がっている部分もあるが、全体的に見ると水質は現状維持である。

〈質疑・意見〉

- （質問）特定外来生物は有害ということですか。ブラックバスは他の魚を食べるのか。
（足立区）特定外来生物は外国から日本に来たもので、日本の生態系へ悪影響を与えるおそれがあるため、有害と言っていいと思います。ブルーギルやブラックバスも日本古来の魚を食べてしまうなど、生態系に影響を及ぼすということです。

毛長川の水防についての報告

- ・平成28年の東京都の降水量は平年並みだった。台風が発生数も平年並みだったが、8月に台風の上陸が集中し、8月の降水量が非常に多くなった。
- ・足立区では平成28年全体で5回、水防警報が発令されたが、すべて8月だった。
- ・台風9号がきた時の、毛長川毛長橋観測所のデータについて、水位は8月22日朝6時ごろから上がり始めて、最高水位時は12時時点で、護岸から水面までが142cmになった。注意水位になったが、警戒水位になるような水位上昇には至らなかった。最大雨量は22日10時から11時までの1時間で53ミリを観測したが、降雨時間が短かったため、大きな水位上昇には至らなかった。

事務局からの報告（次回の流域連絡会について）

- ・次回の流域連絡会（現場視察）は、2月中旬の新花畑橋の橋梁の架設工事を予定している。

閉会

第23回流域連絡会（現場視察）

- 日時：平成29年2月21日（火）10:30～11:30
- 場所：新花畑橋（仮）架設現場



- 参加委員：

団体委員	伊興東町町会 代表（副座長）	行政委員	第六建設事務所 副所長（座長）
	東伊興町町会 代表		足立区都市建設部建設事業調整担当課長
	竹の塚スカイタウン町会 代表		建設局河川部低地対策専門課長(代理)
	花畑団地自治会 代表		第六建設事務所管理課長
	鷺宿町町会 代表		

- 議題・議事概要

- ・平成29年2月21日の午前10時半から11時半に、新花畑橋（仮）架設現場にて、第23回毛長川流域連絡会が開催されました。都民委員5名、行政委員4名が参加し、鋼橋をクレーンで架設する工事の見学が行われました。

開会

1. 座長あいさつ
2. 事業概要説明
3. 架設現場視察



・クレーンによる桁の架設を見学していただきました。

4. 質疑応答

(質疑)

(質問) 10年ほど前に、河川の両端を遊歩道にしたイラストを見たことがあるが、やるのか。

(東京都) 考え方としてはあるが、具体的には決まっていない。

人を歩かせるためには、安全性を確保する必要がある。親水性と安全性のバランスを考える必要があり難しい問題だが、今後も意見を伺っていきたい。

(質問) 地域の皆さんは、新花畑橋は今年の7月に工事が終了し、通れるようになると思っている人が多い。全体の行程が地元に分かるような周知看板等を考えてもらいたい。

町会への問い合わせが多いため、分かる形で掲示してほしい。

(東京都) 検討いたします。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

閉会